

メタン発酵バイオガス発電リーダー 育成研修 2026

現場を統括するための運転・制度・トラブル
対応力を体系習得

募集要項

1. 開催目的：バイオガス発電の全体を捉え、最適運用とコスト改善を担う現場リーダーを育成
2. 開催日時：2026年10月29日～30日
3. 研修方式：オンライン(Zoom)
4. 参加費(税込み)

JORA会員	65,500円/名
一般	77,000円/名



5. 参加申込

メタン発酵バイオガス発電リーダー育成 詳細サイト：<https://www.jora.jp/training/>



<お問合せ> 人材育成事業事務局 kensyu@jora.jp ※お問い合わせは左記のメールアドレスにご連絡ください。

受講対象（こんな方におすすめ）

《本研修の特徴》

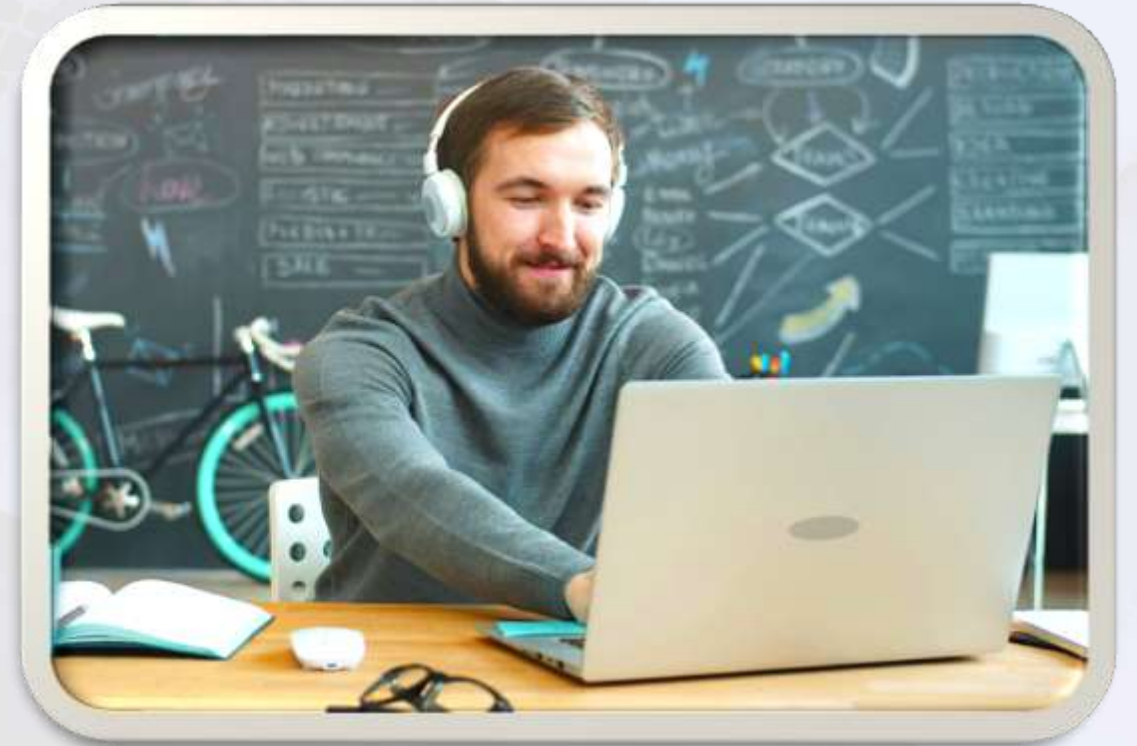
基礎・専門・実例で実務力を鍛える



- ・ バイオガス施設の運転・管理担当者
- ・ 民間事業者、エンジニア
- ・ 自治体、コンサル担当者

《研修後に得られること》

トラブルに即応する実践力、迷わず導く意思決定力、制度を活かす理解力を習得



現場を知る専門家による実践講義

講義	講師
メタン発酵バイオガス発電システムの全体像	石井 一英 (北海道大学 大学院工学研究院 教授)
メタン発酵関連法規等	辻田 崇宏 (株式会社みずほ銀行 みずほ総合研究所)
政策動向・温室効果ガス削減効果の定量化 持続可能性確保	芋生 憲司 (東京大学名誉教授・ 一般社団法人日本有機資源協会会長)
事例紹介－トラブル事例から学ぶ対応策①	盛下 学 (ニューエナジーふじみ野株式会社 代表取締役)
事例紹介－トラブル事例から学ぶ対応策②	安東 貴史 (北海道興部町役場 まちづくり推進課)
水素・バイオメタン利用	阿保 洋一 (エア・ウォーター北海道株式会社)
混合利用 (下水汚泥・食品廃棄物)	愛知県豊橋市上下水道局 下水道施設課
バイオ液肥の利用	中村 真人 ((国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 グループ長)
運転管理上の課題と対策	森田 真由美 (月島JFEアクアソリューション株式会社)
ブラックアウト対策と地域レジリエンス①	猪飼 幸輝 (バイオガスプラント技術管理者)
ブラックアウト対策と地域レジリエンス②	須藤 貴宣 (フロー株式会社 代表取締役)

※講師は変更する場合があります。

特別プログラム

メタン発酵バイオガス発電所 現地見学会 ～現場でしか得られない“運転ノウハウ”を体得～



開催時期：2026年11月下旬～12月上旬（予定）

見学先：首都圏のバイオガスプラント（稼働施設）

対象：本研修受講者限定

内容：運転管理・トラブル

対応の実地確認／現場担当者との意見交換

- ・稼働現場を“自分の目で確認”
- ・教科書では学べない運転ノウハウを体感
- ・トラブル対応のリアルな現場を理解
- ・即現場に活かせる実践知を獲得



受講者の声



1. バイオガス発電の全体像を一気に理解できる
2. 圧倒的な網羅性現場のリアルなトラブル事例から学べる
3. 実践直結の内容上流から下流まで体系的に整理でき、知識が“つながる”
4. 実感独学では得られない、現場視点の具体情報が満載その場で疑問を解消できる
5. 双方向型の学びの場多分野の専門家による“生きた知見”が一度に得られる充実感